

2019
3月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第175号-①【基準日 2019年2月28日】



社長メッセージ



創立15周年に感謝

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。3月になりだいぶ寒さも和らいできましたが、いかがお過ごしでしょうか？

先月のマーケットは1月に引き続き米中貿易摩擦や米朝首脳会談の動向に左右されて一時的に下落しながらも、過度な悲観が後退して上昇となりました。2月のありがとうファンドは月間で4.9%の上昇となりました。世界の株式市場は昨年後半に大きく下げたところから半値近く戻しておりますが、リスク要因として英国のEU離脱問題や米中貿易摩擦があり、今後の動向次第でマーケットが大きく変動する可能性があります。また、実体経済への悪影響が今後の企業業績にどのくらいのインパクトを与えるか引き続き注視していく必要があると考えます。

さて、おかげさまで弊社は今年3月9日に創立15周年を迎えます。これもひとえに皆様のご支援の賜物であると感謝申し上げます。誠にありがとうございます。弊社は金融機関や事業会社のグループ会社ではなく、税理士・公認会計士が立ち上げた独立系の資産運用会社であり、販売会社を一切使わない完全直販のビジネスモデルでスタートいたしました。投信は主に銀行や証券会社などの販売会社が販売するのが一般的ですが、弊社が販売会社を使わずに直販にこだわるのには理由があります。それは創業の思いに繋がります。

バブル崩壊後の1990年代後半、将来不安が高まり、どのように資産を形成していけばいいのか悩んでいる人が多い中、弊社を立ち上げた税理士・公認会計士の先生方のところに中小企業の経営者の方から資産運用についての相談が数多く舞い込んでくるようになりました。しかしながら、日本の資産運用業界では、大手金融機関グループや系列を中心に販売手数料収入を目的に、マーケットの流行りに合わせて新しい投信を作って販売しては、短期間で乗り換えさせる営業が横行していました。本来の投資、資産運用にそぐわないやり方のため、一般の方が、投信に長期投資をして老後の資産形成していくことは難しいのが現状でした。

そのような業界に対するアンチテーゼとして弊社は2004年3月9日にスタートいたしました。投信は、一般の方が少額から資産運用していくのに非常に優れた分散投資の手段を提供してくれる仕組みです。しかしながら、販売会社が手数料収入の獲得を目標として販売すれば、投信はただの手数料稼ぎの道具になってしまい、お客さまの資産を増やすどころか手数料で資産をすり減らす結果になってしまいます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

同じ投信(ファンド)でも売り手や売り方が悪ければ、長期での運用成果は望めませんし、安心して資産運用を任せることもできず、お客さまの資産形成にはつながらないでしょう。ですから、ファンドを誰がどのように販売するのかという販売の仕方は、そのファンドの運用方針や運用内容、運用実績と同じくらい大切であると考えます。

弊社は2004年9月からありがとうファンドの運用を開始いたしました。この15年間には100年に一度の金融危機と言われたリーマンショックにも遭遇し大きな下落相場も経験しましたが、直近2019年2月末時点では弊社のお客様の約95%の方がプラスの運用損益になっております。また、昨年2018年9月末時点では約99%のお客様がプラスになっておりました。金融庁が公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」によれば、大手販売会社(主要行等・地域銀行)では運用損益がプラスの顧客比率は2018年3月末基準が5割強の水準で半分近くがマイナスになっているそうです。

大手販売会社でも運用実績の優れたファンドも商品ラインナップには含まれていて販売されております。この15年間のマーケット環境の条件は同じですし、リーマンショック後の底値で設定されたファンド(特に株式ファンド)であれば、定期積立をしていなくても、金融緩和の恩恵を受けて世界株式市場は右肩上がりだったので基本的にどのタイミングで買っても運用損益がプラスになっていてもおかしくないはずなのに半分近くはマイナスという結果は、人気ファンドや新商品(新規設定ファンド)への短期での乗り換え営業や販売手数料負担の影響が大きいことが原因ではないかと考えられます。このように、誰がどのようにファンドを販売するのかという販売の仕方がいかに重要であるかがお分かりいただけると思います。以上の理由から、弊社では自分達でファンドを運用して自分達で責任を持ってファンドを販売する直販にこだわってきました。

この15年は長いようでいて短くも感じられる期間でしたが、ここまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。弊社は親会社のブランド力もカリスマが率いる派手さありませんが、色々なことを乗り越えて、当たり前のことを堅実にコツコツと継続して、ここまで来ることが出来ました。

今後も弊社では、皆さまのご期待に応えられるように国際分散投資の運用哲学のもと、世界経済の成長の恩恵を享受すべく、景気動向にあまり左右されずに持続的に安定的に利益成長していける質の高いビジネスを展開している企業を厳選している投資先ファンドに国際分散投資することにより、相場下落局面でのダウンサイドリスクを抑えながら長期で安定的な運用パフォーマンスを目指して参りたいと考えております。

これからもお客様の資産運用を一生涯サポートしていけるように、役職員一同、力を合わせて精進して参りますので、今後ともありがとう投信を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【第15期ありがとうファンド半期運用報告会】を全国で開催いたします！

ありがとうファンドは2月末に第15期中間決算を迎えました。この運用報告会では、この半年間の詳しい運用報告と今後の見通し、今後の運用方針について詳しくご説明させていただきます。皆さまのご参加をお待ちしております♪

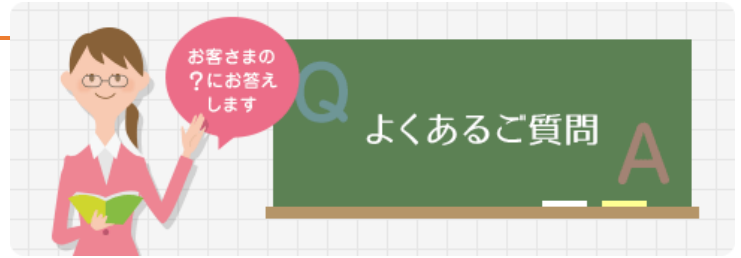
↓お申込み&詳細はこちらから↓

<https://www.39asset.co.jp/news/2019/02/000966.html>



今月の39Q&Aコーナー

【住所変更手続きについて】



3月に転勤で引越しをするので住所変更手続きについて教えてください。

ご連絡どうもありがとうございます。住所変更には書面でのお手続きが必要になります。変更用紙をお送りいたしますので、ご記入ご捺印の上、新しいご住所を確認できる本人確認書類とマイナンバーを確認できる書類とともに同封の返信用封筒に入れてご返送ください。
(本人確認書類とマイナンバーについては次ページをご参照ください)



郵便で変更用紙を送ってもらうと時間がかかるので、何か他の方法はないですか？

ありがとうございます。弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。返信用封筒の宛先ラベルも印刷して封筒に貼って頂ければ料金受取人払いになるので切手はいりません。お急ぎの場合は、こちらのご利用をおすすめしております。

【変更用紙】HOME > お取引ガイド > 登録内容の変更 > 登録情報等 [変更用紙ダウンロード]
【返信用ラベル】HOME > お取引ガイド > 登録内容の変更 > [返信用封筒(ラベル印刷)]



どの印鑑を登録したか忘れてしまいました。どうしたらいいですか？

弊社カスタマーサービス部までお電話ください。ご登録の印鑑を照会させていただきます。お電話はフリーコール 0800-888-3900(通話料無料・携帯電話可)までお願いいたします。

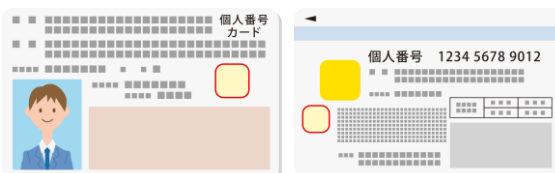


マイナンバー確認書類及び本人確認書類について

新規口座開設、特定口座開設、住所・氏名変更においては、マイナンバー確認書類と本人確認書類のご提出が必要となります。下記3パターンのうちいずれかの組み合わせの書類のご提出をお願いいたします。

組み合わせ① マイナンバー確認書類が『個人番号カード』の場合

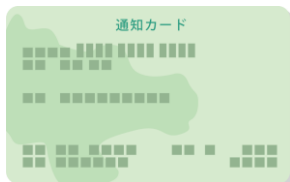
個人番号カード(コピー)のみのご提出
表・裏両面のコピー



組み合わせ② マイナンバー確認書類が『通知カード』の場合

通知カード(コピー)

12ケタの番号が記載されている面のコピー



下記の本人確認書類のうち1種類

- ・運転免許証
裏面に記載がある場合は、表・裏両面のコピー
- ・パスポート
顔写真および住所が記載されているページのコピー



または

下記の本人確認書類のうち2種類

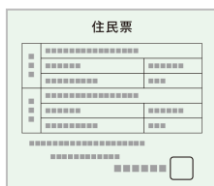
- ・健康保険証(コピー)
カード式の場合は、お名前・ご住所の両方が確認できる面のコピー
- ・住民票の写し(原本)
発行日から6か月以内
- ・印鑑登録証明書(原本)
発行日から6か月以内



組み合わせ③ マイナンバー確認書類が『個人番号が記載された住民票の写し(原本)』の場合

個人番号が記載された住民票の写し
(原本)

発効日から6か月以内



下記の本人確認書類のうち1種類

- ・運転免許証
裏面に記載がある場合は、表・裏両面のコピー
- ・パスポート
顔写真および住所が記載されているページのコピー
- ・健康保険証(コピー)
カード式の場合は、お名前・ご住所の両方が確認できる面のコピー
- ・印鑑登録証明書(原本)
発行日から6か月以内



積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは・・・毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,138円	-1.63%
3年	16,958円	5.21%
5年	16,020円	11.37%
初回(2004年10月)から	11,263円	58.42%

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、14年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでていくのわかるかと思えます。

2019年2月28日現在(基準価額:17,842円)

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

セミナーのお知らせ

参加人数に限りがございます。お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	3月12日 (火)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	3月13日 (水)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	3月19日 (火)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	3月20日 (水)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	3月23日 (土)	東京	10:00~ 12:00	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	3月26日 (火)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	3月27日 (水)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	3月30日 (土)	仙台	13:30~ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	4月4日 (木)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	4月6日 (土)	札幌	13:30~ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	4月10日 (水)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	4月11日 (木)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	4月13日 (土)	大阪	13:30~ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	4月14日 (日)	名古屋	9:30~ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	4月16日 (火)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	4月18日 (木)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
第15期ありがとうファンド半期運用報告会	4月20日 (土)	福岡	13:30~ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	4月24日 (水)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	4月25日 (木)	東京	18:00~ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

2019年 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引き落とし口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
3月分	受付終了	受付終了	3月6日(水)	3月18日(月)
4月分	受付終了	3月27日(水)	4月8日(月)	4月18日(木)
5月分	4月4日(木)	4月17日(水)	5月7日(火)	5月17日(金)
6月分	4月25日(木)	5月27日(月)	6月6日(木)	6月18日(火)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

3月	-	-	-
4月	19日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルグの銀行休業日
	22日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルグの銀行休業日
5月	27日(月)	戦没者記念日	ニューヨーク証券取引所休業日
	30日(木)	キリスト昇天祭	ルクセンブルグの銀行休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.972%(税抜0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。